

「全鍍連」 2018年 7月号 理事長のよこがお

長野県鍍金工業組合 理事長 堀内 哲(春日井アルマイト工業(有))

「長野県鍍金工業組合の活動」

長野県鍍金工業組合の理事長を仰せつかっている堀内と申します。

今回、「理事長のよこがお」を寄稿せよとの事ですので、長野県鍍金工業組合の活動の一部について紹介させていただきたいと思います。

現在組合員数は44社で、長野県は結構広いので4つの支部に分かれております。年に5回理事会（総会・忘年会を含む）を各支部持ち回りで開催しておりますが、3年前から理事会開催時に勉強会を行うことにしました。目的は、様々な情報に接することにより、世界の動きを知り、取り残されないようにする（井の中の蛙にならないようにする）事。また、今まで理事以外の組合員さんが集まる機会が少なかったため、多くの組合員さんが集まる機会を作り、賛助会員さんも含めて横のつながりを持てるようにする事等です。

昨年度は4回勉強会を実施致しました。

その内容は次の通りです

1. 野村證券の和田理都子様の講演

「人口2 / 3 激減時代の到来と新成長戦略」

2. 賛助会員さん4社のPR

3. 上村工業橋本専務様の講演

「海外の動向について」

4. 全鍍連清水専務理事様の講演

「全鍍連の活動と役割」

それぞれに興味深い内容で色々な面で勉強になったと思います。

その中で、特に考えさせられた講演について以下にまとめてみたいと思います。その講演は野村證券和田様の講演です。

大まかなポイントを箇条書きで上げてみます。

- ・20世紀、日本は人口が3倍になった
- ・日本の高度成長は人口急増により達成することが出来た

- ・21世紀は逆に2／3以下の人口に減る
- ・これはほぼ確実で防ぎようがない
- ・しかも生産労働人口の減少はより激しい
- ・日本がこれから成長するためには「生産性」を上げることが大切
- ・人手不足がより深刻になるなど厳しい状況の中でどのようにすればよいか
- ・ビジネスモデルの変換が必要
- ・痛みを伴う転換やイノベーションが必要だが実行できるかがカギ

以上の様な内容でした。

ビジネスモデルを替える・・・と言っても実際にはなかなか難しいことです。どのようなビジネスモデルにするのか、そのためには何をしなくてはいけないのか検討する事はたくさんあります。自分と関係の無い話ではありません。皆さんもぜひこれからの自分の会社の進むべき方向について考えてみてください。